2025年8月17日(33週目)主日礼拝

「止められない日本と世界福音化」(使徒 28:30-31)

全ての問題は答えの道である。問題は、世界福音化の為の過程である。ある教授が、仕事に成功したが、がんにかかり、余命が残りわずかである宣告を受けた。その際に、神様に向けて「why me」という問いをした。祈りをする中で、神様の目的である学生たちを生かす使命を持った。その中でリバイバルの働きが起こった。問題も全て感謝出来るようになった。止められない世界福音化の働きが必要である。

1. 真の答え

- ▲真の答えが聖書にあることが分かる。悪魔の奴隷であることを分からせる為に苦しみが続く。霊的に悪魔の奴隷であるから問題が続く。
- 1) 御言葉(福音)の流れ—創 3:15(わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく。)
- ・聖書はサタンの奴隷であることを教えている。家系の問題が続いている。
 - ・万物を造った神様がこの天地を造られた。2000年前にキリストが十字架にかけられた。
 - ・サタンは、罪の力、死の力、災いの力を打ち砕いた。
- ヨハネ 19:30(イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した。」と言われた。そして、頭を垂れて、霊をお渡しになった。)
- ・キリストが十字架にかかり完了して下さった。
- AD30年頃に教会は誕生した。
- ・1100年まで勝利者のキリストが語られた。どんな宗教よりも強いキリスト教国家になる。
 - ・1517年に400年ぶりに勝利者のキリストの信仰をマルチンルターが回復した。
 - ・1560年にキリストが来られて悪魔から私達を救い出して下さったことを分かる。
 - ・1700年にキリストが勝利したことを忘れてしまった。
- 2) 祈りの答え—ルカ 11:13(してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありますか。)
- ・祈りの答えの中で一番大事な答えは聖霊充滿である。
 - ・私達に聖霊充滿を与えないはずはない。
 - ・弟子たちに命令をしたのは、聖霊充滿を受けるようにと言われた。
- 使徒 1:8(聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。)
- ・聖霊充滿になったら全てついてくるようになる。
- 777の祈り
- ・7つのやぐらの祈り、7つの旅程の祈り、7つの道しるべの祈りを味わうように。
 - ・聖霊充滿の実によって全て成り立つ。
 - ・聖霊充滿にならないのが怒りとか恐れである。
 - ・私がいつも聖霊充滿の状態かどうかチェックをするように。
 - ・聖霊充滿を受けることが出来るように。
- 3) 世界福音化—マタイ 24:14(この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。)
- ・弟子→弟子(弟子になったら自分のような弟子がつけられる)
 - ・世界福音化をすることが真の成功である。
 - ・教会がチームになる時に完全にすることが出来る。
 - ・教会を中心にチームになったら日本福音化は必ず成し遂げることが出来る。

2. マルタ島での事件

- ▲ユラクロンの暴風によって流されマルタ島で事件が起こる。
- マルタ島で木の中にいたマムシがパウロをかむようになる。
- 1) 使徒 27章
- ・ユラクロンの事件が起こる
- 2) 使徒 28:1-6
- ・パウロはマルタ島に着いた。
- 使徒 28:5(パウロは、その生き物を火の中に振り落として、何の害も受けなかった。)
- ・マムシがパウロをかんだ。
 - ・パウロはマムシにかまれ生きるか死ぬかになった。
 - ・しかし主がパウロを守られた
- 3) マルコ 16:17-18(信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばを語り、蛇をもつかみ、たとい毒を飲んでも決して害を受けず、また、病人に手を置けば病人はいやされます。)
- ・信じる時に新しい言葉を語り毒を飲んでも害を受けない
 - ・病人に手をおけば癒される。
 - ・キリストの名で病は癒される
- 4) 癒し—使徒 28:7-10
- 使 28:8(たまたまポプリオの父が、熱病と下痢とで床に着いていた。そこでパウロは、その人のもとに行き、祈ってから、彼の上に手を置いて直してやった)
- ・パウロを通して首長、村人たちが癒された。
 - ・島中の人たちが生かされた。

3. ローマでの福音宣教

- ▲マルタ島からローマにまで到着をした
- 1) 使徒 28:14-15(私たちはローマに到着した。私たちのことを聞いた兄弟たちは、ローマからアピオ・ポロとトレス・タベルネまで出迎えに来てくれた。パウロは彼らに会って、神に感謝し、勇気づけられた。)
- ・マルタ半島からローマに福音が伝えられるようになった。
 - ・宣教は互いに勇気をつけて、成されることが出来るように。
- 2) 使徒 28:16(私たちがローマにはいると、パウロは番兵付きで自分だけの家に住むことが許された。)
- ・ローマに着くと特別な場所で住んだ
 - ・チームになって皆が協力した。
 - ・ローマの福音化がなされた。
- 3) 使徒 28:23(彼らは日を定めて、さらに大ぜいでパウロの宿にやって来た。彼は朝から晩まで語り続けた。神の国のことをあかしし、また、モーセの律法と預言者たちの書によって、イエスのことについて彼らを説得しようとした。)
- ・悪魔の国から神の国へ導けた。
 - ・神の国を分かり真の成功を分かる。
- 4) 使徒 28:30-31(こうしてパウロは満二年の間、自費で借りた家に住み、たずねて来る人たちをみな迎えて、大胆に、少しも妨げられることなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えた。)
- ・宣教を誰も止めることは出来ない。
 - ・宣教を妨げる国は衰退する。
 - ・パウロは大胆に妨げられることなく、主イエスのことを宣べ伝えた。
 - ・私達が世界宣教の為に用いられる。

現場地教会(2025年8月17日～2025年8月23日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「止められない日本と世界福音化」(使徒 28:30-31)

【讚美】 388 悪魔と戦え

【祈り】

- ① 教会の祈りの課題
※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。
- ② 現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
- ③ 現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。アーメン

祈り文

主の恵みに感謝します。私を神様の子供、祝福の源として、伝道者として召して下さっていることに感謝します。
真の答えが福音であり、すべての問題は創世記3章、エデンの園から始まり、悪魔(サタン)の奴隷状態であった事実を知り、Seed of Woman 女の子孫「キリスト」が、蛇「悪魔」の頭を打ち砕き、サタン、罪、死、地獄の問題をキリストの十字架で完了した、終らせた事を信じます。
私は神の子どもであり、最良な物を与えてくださり、また777の祈りをもって聖霊充滿を与えてください。
“福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから終わりが来ます。” 私の信仰生活の目的が日本、世界福音化であり、弟子となる事を出来するように。
福音宣教教会全聖徒が弟子となり、TEAM となり、サタンの国を潰し、神の国を建てる使命を回復できますように。
又、マルタ島でのパウロのように、私たちも悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、蛇をもつかみ、毒を飲んでも害を受けず、病人に手を置けば癒される。霊的戦いができる力を与えてください。誰も福音を妨げる事無く、大胆に福音を伝えることができる力を与えてください。日本福音化、世界福音化の為に私を霊的に強くして下さいパウロが、自分の命も惜しまず、ローマ宣教が出来たように、私たちも大胆に、少しも妨げられることなく、福音を伝え、魂の救いの働きができますように。
主任牧師に、聖霊充滿と5つの力が常に与えられ、100ヶ所の地教会運動、楠RUTCに1,000名が集う教会堂建築がなされますように。今週にある福岡弟子訓練を通して地域の弟子が強められ、小学部修練会を通してRTが立ち上がり、森孝保育園移管事業のプレゼンテーションを通してその事業ができるように力を与えてください。
神様がくださった契約を握り、出会う全ての人々、出来事、働きの中で福音の証人としてください。イエスキリストの御名によってお祈りします。

(お知らせ)

- ① 8月22日～23日 福岡弟子訓練
- ② 8月23日 小学部修練会
- ③ 8月26日 森孝保育園移管事業プレゼンテーション

福音宣教教会

主管牧師：御国イザヤ

名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003

主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00